

Fukushima, Okinawa

福島ー沖縄 いのちの話 & ライブ

原発は原爆と同じということをはからずも証明してしまつた福島第一原発事故。放射能は全国に拡散。汚染された食品を否応もなく食べさせられ、放射能汚染ガレキが全国で処理されようとしています。

命を脅かす米軍基地撤去を求める沖縄県民、原発災害と闘う福島県民と共に、私たちのかけがいのない生命について一緒に話し、歌い、集う一日です。

避難者・支援者・地元のみなさん、ご家族揃つてお越し下さい。

2012年 3月4日(日) 11:00～16:40

高槻上牧 本澄寺 (阪急上牧駅下車)

料金 1部の交流会&境内アトラクションは無料!

前売一般 2000円/障がい者 1500円/シルバー 1500円
中・高校生以下 1000円/非正規労働者 1000円
被災者・避難者 500円 (当日券はすべて 500円増)

★チケット収益金は食品の放射能検査を市民レベルで行うための「放射能市民測定所」設立のためのカンパとします。

チケット取扱

島本：自然食品の店 (阪急水無瀬駅前) 京都：祇園新右衛門

高槻：本澄寺ゆいまーる (JR 摂津富田) 赤焼瓶 (JR 高槻駅北) 花 (JR 高槻駅南)

主催：映画GAMA・MABU I 上映高槻・島本実行委
放射能を測定し、市民の安全を求める北摂の会
放射能から子どもを守る会・高槻

1部 11:00～13:00 本澄寺本堂内 無料

原発・震災避難者 交流会



3.11 から 1 年。鎮魂の思いをこめて千羽鶴を折りながら避難先での子育て、知り合いづくり、放射能の心配などひとりで抱え込まないで、一緒にお話してみませんか。避難者、支援者、地域の方、誰でも参加オッケーです。日々の暮らしの情報交換やつながりがもてる集いに。

2部 13:30～14:30

いのちのライブ



海勢頭豊バンド (沖縄)

辺野古のジュゴンを守る運動を現地で進めるシンガーソングライター。本澄寺では、5回目のライブ出演です。

海勢頭豊 沖縄県与那城町平安座島生まれ。戦後の激動期から沖縄の社会状況とその心を歌い続けている。代表作に「月桃げつとう」「喜瀬武原きせんぼる」「さとうきびの花」「トラジの花」など。沖縄戦の実相を描いた「GAMA月桃の花」の音楽監督や、戦後沖縄を少年の目で描いた「MABU I」の製作代表も務める。また、ジュゴン保護キャンペーンセンターの共同代表として、ジュゴンをテーマに新曲を発表。各地でジュゴン保護のためのコンサートを開くなど幅広く活動中。

3部 14:40～16:40

いのちを守る話 「内部被曝って危険なの？」



林敬次医師 (小児科医 医療問題研究会)

薬害問題、劣化ウラン問題に精通。『家庭医学大辞典』(小学館)や雑誌『ちいさい・おおきい・つよい・よわい』にも論文掲載

楽しい境内アトラクション

(11:00～13:00) もあり! 無料

エイサー、唄三線、琉球舞踊、バンドなど多数出演
沖縄物産、自然食品、フリマ、共同作業所の店など
模擬店も募集中!

会場・お問い合わせ

本澄寺 (ほんちょうじ)

高槻市上牧町 2-6-31

tel 072-669-1897

fax 072-669-1899

